

対象	中学校以上
教科	国語科
該当 単元	中学 1 年以上 読解力を付ける
教科書	
掲載日	2019. 7. 8. 朝刊 12 版 1 面

スイス初 ハイジ展

里帰りはなぜ今までなかったの？

日本のテレビアニメ「アルプスの少女ハイジ」の展覧会が十七日、スイス国立博物館（チューリヒ）で始まる。欧州をはじめ世界中で愛される名作だが、原作の舞台となったスイスではなぜ放映されることがなく、公的に紹介されるのは初めて。（谷口大河）

「ハイジ」は、NHK連年「ハイジ」展覧会も開催された。続テレビ小説「なつぞら」でも描かれるアニメーションの勃興期に、宮崎駿さん（中心）ら、後にスタジオジブリで活躍するクリエイターらが制作。日本のアニメでは初めて海外で本格的な「ロケハン」を行い、物語の舞台であるスイスの雄大な自然や欧州の食文化を描き

教えておじいさん

「ハイジ」は、NHK連年「ハイジ」展覧会も開催された。続テレビ小説「なつぞら」でも描かれるアニメーションの勃興期に、宮崎駿さん（中心）ら、後にスタジオジブリで活躍するクリエイターらが制作。日本のアニメでは初めて海外で本格的な「ロケハン」を行い、物語の舞台であるスイスの雄大な自然や欧州の食文化を描き、

「ハイジ」展覧会は長年「ハイジ」に関心を持ち続けてきたチユーリヒ大のハンス・ビヤーン・トムセン教授（63）が企画した。アニメは、スイスでもキャラクターは知られ、外国人観光客を呼び込むイメージとして人気がある。だが作中で強調される牧歌的な風景や、文明的なドイツとの対比が敬遠されたのか、これまでスイスの放送局が放映したことはない。

トムセン教授は約三十年前から、多くの外国人が「ハイジ」というフィリタを通してスイスに触れていることに着目。数年前から研究者や当時の制作陣と展示会の企画に取り組んできた。「スイス人こそが『ハイジ』を知るべきだと思つ」と説明する。

十月十三日までの会期中には、研究者や当時の制作陣らが意見交換する国際会議も予定。三重大の大喜祐太講師（ドイツ語学）らが参加する。



小田部羊一さんがポスター用に描き下ろしたハイジの絵＝スイス国立博物館提供



テレビ初放映から45周年
アルプスの少女ハイジ
原作の著者は、スイスの児童文学作家ヨハンナ・シュペーリ。アルムの山で暮らす活発な少女ハイジを主人公に、祖父のアルムおんじや友人のクララとの交流を描く。テレビアニメは全52話、制作はスイヨ一映像。

問1：次の漢字の読みをひらがなで書きましょう。

- ① 勃興期（ ） ② 凝縮（ ）

問2：ロケハンの意味を国語辞典で調べましょう。

（ ）

問3：「アルプスの少女ハイジ」がスイスで放映されなかった理由を考えましょう。

作中で強調される（ ）な風景と（ ）なドイツとの対比が敬遠されたから。

【活用にあたって】

ハイジの絵を見るだけで、子どもたちは新聞記事に興味をもつのではないのでしょうか。見出しには「里帰りはなぜ今までなかったの？」とあります。原作の舞台となったスイスでは、今まで紹介されてこなかった。なぜか。興味は疑問に変わり、本文に引き込まれていきます。

新聞記事のおもしろさです。見出しに導かれた読み手は文章を読み進め、知らず知らずのうちに文章のポイントをつかめるようになっていきます。ハイジとスタジオジブリとの関わりなどを知ることができ、楽しく読んでいくこともできます。

「ロケハン」は子どもたちには、なじみのない言葉です。前後の内容から、あるいは文章全体から意味を推定してから、国語辞典で調べるように指導することが、語彙力を付ける上で大切だと思います。

解答例

問1：①ぼっこうき ②ぎょうしゆく

問2：「ロケーションに適した場所を捜し求めること。」(三省堂「新明解国語辞典」第7版)

ロケーション・ハンテングの略ですね。

問3：牧歌的・文明的